

2F 展示室

通常展 2.20金—4.12日

東山魁夷 1972—1999

唐招提寺障壁画の制作をへて、画伯の旅は新たな時代を迎えます。東山芸術後期の展開をご紹介します。

特別展 4.17金—5.10日

市川市東山魁夷記念館 館蔵名品選

1999年5月6日、90歳で亡くなった東山画伯。その没後10年にあわせて、当館が所蔵する本制作を一堂にご紹介する、ファン必見の展覧会です。



《道【試作】》

通常展 5.15金—7.5日

東山魁夷・青の世界

展示作品
《緑映》ほか

東山芸術の象徴ともいうべき、神秘的な「青」の世界。精神的な深みを感じさせる、青や緑を基調とした作品をお楽しみください。



《緑映》

通常展 7.10金—8.30日

東山魁夷・白馬幻想

展示作品
《夕汀》《ツエレの家》ほか

戦後の東山作品のなかに異彩をはなつ連作「白い馬の見える風景」。館蔵の版画類を通して、画伯の「点景」の系譜をたどります。



《夕汀》

通常展 9.4金—10.18日

東山魁夷・夏から秋へ

展示作品
《秋風行画巻(大下図)》
《緑の微風》ほか

自然がその生命の充実をもっとも感じさせる季節。夏から秋へと向かう、この時期にちなんだ風景画を特集します。



《緑の微風》

特別展 10.23金—11.29日

東山魁夷「大和春秋」展

東山画伯の知られざる連作「大和春秋」。奈良・大和路の四季に取材した本制作・習作・スケッチを通じて、唐招提寺障壁画制作期の画伯の横顔にせまります。



《秋思》

長野県信濃美術館・東山魁夷館蔵

通常展 12.4金—1.24日

東山魁夷・山河遍歴

展示作品
《静日》《雪野》ほか

東山画伯にとって作品発表の最大の舞台は、毎年秋の「日展」でした。版画・複製画等により、画伯の日展出品作の変遷を回顧します。



《雪野》

通常展 1.29金—3.22日

東山魁夷・冬から春へ

展示作品
《萬緑新(中下図・大下図)》
《湖岸(試作)》ほか

厳寒の休息のときから目覚め、野山はふたたび萌えたつ日々をむかえます。冬から春へと移りゆく、季節感を主題とするシリーズ第二弾です。



《湖岸(試作)》

通常展 3.27金—5.9日

東山魁夷・日本の美を求めて

展示作品
《日月四季図(プラン・小下図)》
《夏に入る》ほか

繊細優美な京都。青葉繁る山々や、荒波しぶく海——生涯にわたって日本の美とは何かを追い求めた東山画伯の足跡をたずねます。



《夏に入る》

※都合により展覧会名や展示内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。